

安全な道路環境をめざして 7

# SAFETY FOCUS

## 自転車利用者による信号無視が目立つ交差点

●この地点で発生した事故件数

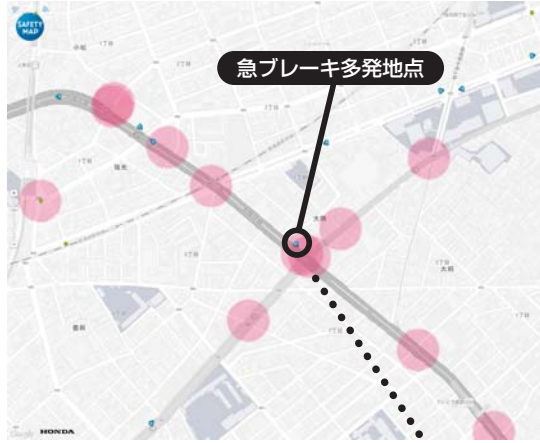
事故類型	件数
四輪車対自転車 (左折時)	2
四輪車対四輪車 (追突)	2
四輪車対四輪車 (正面追突)	1

※平成26年中、大阪府警察本部提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

危ないと感じる理由	そう思う人
歩行者/自転車の飛出しが多い	4人
スピードが出ているクルマが多い	2人

※平成27年3月31日時点



「SAFETY MAP」の表示

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUSエリア」(下図参照)に取り上げるのは、大阪府内で5人の方が「みんなの意見」を投稿している大桐2丁目の交差点だ。ここには、歩行者/自転車の飛出しが多い(4人)、スピードが出ているクルマが多い(2人)という投稿が寄せられている。また、急ブレーキ多発地点の表示も出ているこの場所では、平成26年中に交通事故が5件発生しており、そのうち2件はクルマ対自転車の事故となっている。

「SAFETY FOCUS」は、ホンダが公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜在的に足運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

### 現場をたずねる

今回訪れた大桐2丁目交差点は、大阪内環状線と府道16号が交わる交通量の多い場所。ドライバーに横断しようとする歩行者や自転車の存在がわかりやすいよう、交差点の角にある植え込みの高さを低くしていた。

現場を訪ねた平日朝7時半は車道を往來するクルマが多いことはもちろん、阪急線上新庄駅方面に向かう通勤・通学の自転車利用者や歩行者が多く行き交っていた。

通勤・通学の自転車利用者や歩行者のほとんどは深江橋および高槻方面から吹田方面に進んでいた。車道は交通量が多いため、自転車利用者の多くは歩道を走行していたが、車道の様子を伺うことなく横断歩道を通過していたほか、自転車・歩行者専用信号の表示を無視しての横断が後を絶たなかった。

また、歩行者や自転車利用者が横断歩道(自転車横断帯)を通行中でも、十分に減速せずに、左折して交差点を通過するクルマも見られた。

なお、現場では早朝から警察官による赤色信号無視で横断する自転車利用者などに対する指導取締りが行われていた。

●この地点を通過する自転車の状況(台数)

信号遵守		危険運転		
青点減で進行	赤信号で進行	二人乗り	イヤホンヘッドホン	携帯電話使用
23	82	5	25	16

※観察日：平成27年3月25日 午前7時30分～午前9時

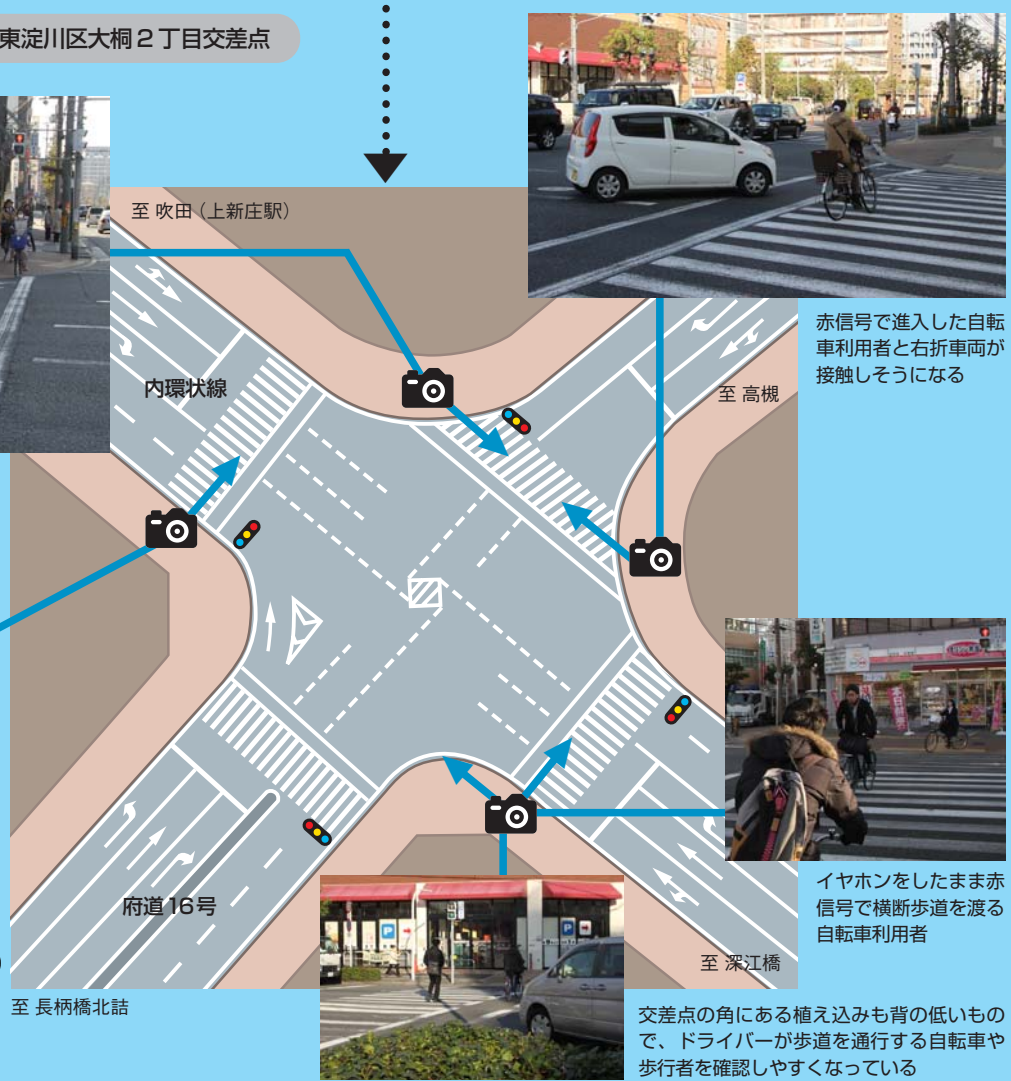
### FOCUS エリア 大阪府大阪市東淀川区大桐2丁目交差点



信号が青になる前に多くの自転車が交差点内へ進入



高槻方面から斜め横断してくる自転車



赤信号で進入した自転車利用者と右折車両が接触しそうな



イヤホンをしたまま赤信号で横断歩道を渡る自転車利用者



交差点の角にある植え込みも背の低いもので、ドライバーが歩道を通行する自転車や歩行者を確認しやすくなっている

### 交差点進入時の安全確認を徹底する

現場で危険を感じたのは、自転車利用者の信号無視だ。自転車・歩行者専用信号が赤になってから横断するだけでなく、青になるのを待ちきれずに横断する自転車も多かった。1台が信号を無視して横断を始めても、周囲の自転車も連鎖して渡り始めてしまったため、一度に9台の自転車が信号を無視した横断をする場面もあった。赤信号になってからの無理な横断によって、右折矢印信号の青から赤の変わり目で右折するクルマと自転車が接触しそうな状況も、ヒヤリとする状況が何度となく見られた。

当然のことだが、自転車利用者は自転車・歩行者専用信号が赤の時は横断してはならない。一方、ドライバーは自転車・歩行者専用信号が赤になっても、突然自転車進入してくることを予測して、横断歩道(自転車横断帯)手前では徐行し、場合によっては一旦停止することが必要だ。そして、自転車や歩行者が来ていないことを確かめて通過してほしい。

### 自転車利用者の信号遵守が重要

現場の道路環境は交差点内が見通しが良く、車線整備や信号の切り替わりも実情を反映されているように感じられた。そのため、ドライバー、自転車利用者、歩行者が油断してしまうのかもしれない。交差点内で見通しが良いため、自転車利用者は赤信号で進入しても自分の存在をドライバーが見つけて、クルマのほうが目止まってくると思ってしまうのだ。

歩行者・自転車とクルマの通行を信号機によって完全に分離するという対策も考えられるが、信号無視をする自転車が多い場所では、ドライバーへの一層の注意喚起や自転車利用者の違反に対する取締りの強化が有効といえるだろう。

大阪府警察では、4月1日に警察として初の自転車対策の専門部署である「自転車対策室」が発足した。今後、府警は本実態もふまえ、自転車利用者へのルール周知や違反取締りなどの安全対策を強化していく考えだ。

「右にちゅうい」と横断歩道に書かれた歩行者と自転車利用者向けの注意喚起表示



自転車の二人乗りや幼児ヘルメット未着用が目立った



自転車は「歩行者・自転車専用」に従わなければならない

「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

ホンダ セーフティマップ

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危ないと感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。